

## タブレットを活用した生徒の音読を向上させる活動と学習評価 (Here We Go! ENGLISH COURSE 2 Unit3 Plans for the Summer)

①読む

②個・学

②一斉

②評価

③デジ教

【ここがポイント！】

③タブ

④Google クラスルーム

### ①「教科書の二次元コードを活用する。」

デジタル教科書を活用し、本文内容理解を行う。ピクチャーカードを見せながら本文の導入（口頭質問）をしたり、動画やアニメーションを見せたりし、教科書本文の内容理解を促す。内容理解を十分に行った後は音読練習を行う。まずは教師の後について何度か発音練習をした後、音読のポイント（発音、アクセント、イントネーション、音のつながり）を与え、二次元コードを読み取り、個別に音読練習を行う。

### ②「音読動画を提出し、評価する。」

十分に音読練習をした後に、自分の音読を動画で撮影する。撮影後はペアで見て、アドバイスをする。その後、再び音読練習をし、動画を撮影して、Google クラスルームに動画を提出させた後、指導者が個々の音読を評価する。

### 【実践の目標】

自分の音読を客観的に見て、自分の音読を改善することができる。

### 【実際の場面】

#### 1. 本文の内容を理解する

デジタル教科書を用いて、ピクチャーカードを見せたり、動画やアニメーションを見せたりし、内容理解の手立てをした後、本文に関する英問英答をし、内容理解をさせた。

#### 2. 音読練習①（一斉）

教師の後について発音練習を行ったり、デジタル教科書の音声（少し遅め）の後について音読練習を行った。

#### 3. 音読練習②（個人）

音読のポイント（発音、アクセント、イントネーション、音のつながり）を確認した。イヤホンを装着し、二次元コードを読み取り、個人で練習をした後、各自の音読を動画で撮影した。

#### 4. ペアで音読動画を見合い、アドバイスする

音読を見合い、改善点を指摘し合った。また、自分自身が音読している姿を見ることで、客観的に分析することができ、良い点や改善点を自分自身で見つけることができた。

#### 5. 音読練習③（個人練習）

4. で出た改善点を改善できるように、もう一度音読練習を行った。

#### 6. 動画を撮影し、Google クラスルームに提出

個人練習後、もう一度音読を動画で撮影をし、Google クラスルームに提出をした。

#### 7. 評価を行う

後日、生徒が Google クラスルームに提出した動画を指導者が評価を行った。

### 【成果と課題】

#### 【成果】

- 音読動画を撮影することで、生徒は自分の音読を客観的に分析することができ、音読のポイント（発音、アクセント、イントネーション、音のつながり）ができていたかどうか自己評価することができた。また、できていないところに関しては、そこを意識して再度音読練習をし、改善につなげることができた。
- 動画提出をさせることで、指導者が動画を何度も見返すことができ、評価をする際に非常に役立った。
- 音読のポイントを意識させることで、生徒は正確に音読ができるようになってきた。今後は、相手に伝えるために読むことや、音読の目的を意識させることで、更に音読の質を高めていきたい。

#### 【課題】

- 二次元コードを読み取って、音読練習をする際、音声が多く、音声についていくのが難しい生徒がいた。そのような生徒への手立てが必要である。

### 三次市立八次中学校

